2-④ われわれはなぜ人間思考を超えなければならないか

<われわれはなぜ人間思考を超えなければならないか>(P48~)✔

人間が善あるいは悪であることは不可能だ

心の動きを理解する度合に応じて人生は内部清掃される。人間思考は物事を比較するプロセスといえる。日常の次元では比較は有用である。家を買うとき、われわれは数軒の家を比較し、もっとも適したものを選ぶ。

だがあなたの内的な生という場所では比較の場所がない。あることを良いと呼ぶなら、その反対を悪いと呼ばなければならない。こうなると、悪いものがあなたのところへ来るとあなたは悩む。明るい手紙がくれば、あなた

善があるところには悪がなければならない。（陸王之学）

わたしたちの思考がこうした両極性という痛苦にみちたもので左右されてはならない。わたしたちの思考はスーパーマインドの自覚から発してくるものでなければならない。わたしたちは、人間思考がつくりだした善と悪の

善悪の両極性から考えられることは霊的な催眠という状態である。この眠りの状態では、人は自分が善いと思うものでありたいと努め、悪いと思うものを避けることで、彼自身を引き裂く。しかし人間が善あるいは悪である

これを悟るとはなんというありがたい啓示であろうか！ それは、あなた自身の思いこんでいる悪について、あなたはいささかも悪いと感じてはならないという意味だからである。思いこんでいる悪こそ悪を恒久化(こうきゅ

Qこの原理が、友人関係、社会関係といった実際の状況にどう適用されるのでしょうか?

A対立物に分けて考える習慣から解放されれば、そうしたコトバの通常の意味での、誰かを受けいれるとか拒否するとかということはなくなります。拒否に伴う孤独感から解放されます。他の人々とのつき合いから屢々(し

不幸の主たる原因は、私が心的映画と称している心理作用である。心的映画は想像力を誤用する結果である。どうしてそうなるのか、あなたにも容易に分ろう。あなたが誰かとのつきあいで、ひどく痛ましい経験をもったと

ここから脱けだすには、あなたが心的映画を映写しているのだと気づくことだ。このフィルム映写という作用が、あなたの心を機械的に呪縛していることに気づくことだ。そして、熟慮(じゅくりょ)した上で、断乎(だんこ

この方法を自分で試してみなさい。最初はごく一秒の何分の一というほどの短時間の成功だとしても、とにかく完全に成功したのである。小さな成功が可能だと分れば、もちろん大きな成功へとよろこび進むことができる。

Revision #4
Created 16 October 2024 07:21:19 by ゆう
Updated 3 December 2024 10:39:26 by ゆう